

# キリストが すべて

vol. **171**

December 2022

東京基督教大学大学報  
Tokyo Christian University  
Magazine

## CONTENTS

02 特集 夏の報告特集

05 大学院「オンライン継続教育プログラム」スタート

07 共立基督教研究所・所長就任挨拶

10 卒業生インタビュー

06 秋入学生紹介

08 TCU News

11 支援会ニュース



## 特集

# 夏の報告特集

この夏も学生たちの専攻ごとのインターンシップと夏期伝道が行われました。机上の学びの実践の機会として、また、将来の働きへの備えとして、それぞれのフィールドで学ぶことができました。

コロナ禍で制限がある中ではありましたが、感染症や事故などから守られ実習を終えることができました。



### キリスト教福祉学専攻 介護実習

#### 介護実習で学んだこと



キリスト教福祉学専攻 4年  
見城 樹

今回の実習を通して、自分の足りなさに気づかされ、思い悩むこともありました。しかし、イエス様が自分を愛してくださるように相手の存在を大切に想って対等に寄り添うこと、その方の強みが活かされるような介護計画を立てることが福祉の現場でのイエス様の愛の実践につながるのだと学ばされました。

私は夏休みに24日間、恵みの家の生活介護事業所「工房マナ」で実習させていただきました。

実習では、掃除、ごみ捨て、農耕、染め物づくりなどの活動をされる利用者さんの見守りを行いながら関わりました。また今回の実習では、24日間、一人の利用者さんに付き添い、介護計画を立てて実施する個別支援に取り組みました。

はじめはその方の気持ちや持っている障がいの特性を理解できずかえって不安にさせる声掛けをしてしまい、どう接するにも不安や戸惑いがありました。しかし、職員の方の姿や、指導を受けながら関わりを続けるうちに少しずつ関係性を築き、その方の理解を深めていくことができました。



大学院 神学インターン

私は日本聖契キリスト教団中原キリスト教会でインターンシップをさせていただきました。中原キリスト教会はNPO法人ホッとスペース中原として、福祉活動の取り組みも行い、そこでも一緒に働かせていただきました。ホッとスペース中原が大切にしている事の一つは、一人一人の尊厳や価値を最大限尊重することです。それは、神が非常に良い存在として造られたことを、ホッとスペース中原につながるすべての人が実感するためです。



地域が求める教会を目指して

大学院修士課程  
教会教職コース1年  
福士 堅



地域教会としての重要な役割は地域に仕えることです。ただ、単に教会が地域に赴くだけでなく、地域が求める教会であるところに中原キリスト教会の地域教会としての大きな役割を見ました。高齢者、障がい者、触法者等生きづらさを感じている人々の居場所としての教会、困難の中にあっても一緒に生きて歩んでくれる教会。この働きは、行政や地域の学校とも連携しながら行う宣教とも言えるのではないかと感じました。私にとって貴重な経験となりました。

企業インターンシップ

子どもたちが成長する居場所づくり

今回、私は茨城 YMCA の学童保育でインターンをさせていただきました。子供たちと遊び、関わりをもつことが仕事でした。今までは子供たちと関わるとは、ただその子供たちが楽しいと思えることが大事だと思っていました。しかし、ただ遊ぶだけではなく、その中でどうしたら子供の成長につながるかを考え、より積極的に関わり、学童が彼らの「居場所」になることが大事であると学びました。

子供たちがケンカをしていた時は、なぜそれが起きたのか、どうしたらケンカをせずにいられるのかを子供たちと話し合いました。そういったことも彼らの成長につながるきっかけになると思いました。

今回のインターンで、子供たちとの関わりを通じて大切なことに気づき、また自分自身をより深く見つめることができました。

この大切な学びを夏休みの宝物とし、より深く「自分」を見つめ直し、今後の学びや子供たちとの関わりに活かしていきたいです。



総合神学科2年  
リチャンウ (中央)



## 特集 夏の報告特集

### 教会音楽専攻科 インターン

#### インターン報告

インターンをお願いした東京聖書教会とは、先々代牧師の鈴木昌先生と父（外山一清）がキリ神で同級生（第3期生）だった頃からの70年近いお付き合いです。6年前にTCUと同じガルニエオルガンを設置したので、私はそれを弾かせてもらいたくTCUのオルガン聴講生になりました。

インターンとしては、月2回の聖歌隊練習にアルトとして参加し、礼拝奏楽も担当の姉妹に助けられながら2回奉仕をしました。最終日の7/18（海の日）には教会内修養会の後ミニコンサートを開催、私の所属するみふみバプテスト教会からも聴きに来てくれました。

ミニコンサートではバッハ、パッヘルベル、ブクステフデの3曲を弾いた後に皆で讃美歌を歌いました。後日、オルガンの音と皆の声が一体となって会堂に響いたのが印象的でとても良かったという嬉しい声が寄せられました。

（もう一つ嬉しいことがありました。なんと私の弾いた曲がCDになって届いたのです）



教会音楽専攻科  
井上 ナオミ

### 夏期伝道旅行

#### 「side by side ～途上の僕らを導く主～」



7月9日から18日まで、千葉県と茨城県の10教会に派遣チームを受け入れていただき、総勢88名（派遣メンバー63名、祈りのメンバー25名）が参加しました。

「side by side ～途上の僕らを導く主～」をテーマに、主と共に歩む喜びに押し出されながら、主の守りの中で10日間の夏期伝道旅行を実施することができました。チームを受け入れてくださった諸教会を始め、多くの方のお祈りとご支援に心より感謝申し上げます。コロナ禍の制約の中でも、礼拝説教、証し、奏楽、特別賛美、路傍伝道、トラクト配布、祈祷会、子ども集会、青年会、キャンプ、フードパントリーなどの奉仕をさせていただきました。参加した一人ひとりの賜物が用いられ、主に導かれる喜びを味わうときとなりました。各教会で蒔かれた福音の種が実を結ぶよう、続けてお祈りいただけますと幸いです。

大学院修士課程教会教職コース1年 西村 星乃

# オンライン継続教育プログラム (修士課程 研究教育コース)

## On-line Continuing Education Degree Program at TCU Graduate School

### 2023年度(春学期)より、大学院「オンライン継続教育プログラム」が始まります！

Zoomを用いた対面オンライン授業の受講と修士論文または修士プロジェクトの執筆を通して学びを深め、修士号の学位を取得することができます。印西市にあるTCU大学院のクラスとお部屋をネットで結び、共に授業を受け共に学びます。対象は四大卒者、および神学校卒者です。最短で2年間、最長で4年間のプログラムで、年に1～2回程度のスクーリング(キャンパスで学ぶ機会)を含みます。

#### 対象

教会教職者(牧師等)の継続教育、および教会の信徒リーダー、キリスト教団体のリーダー養成のプログラムです。TCU大学院の「研究教育コース」の一部です。「教会教職コース」の一部ではありません。

#### スクーリング

年に1～2回程度のスクーリングがあります。修士論文の指導教員との面談、チャペル出席、授業出席、教員や学生との交わり等が含まれます。日程は個々の学生のスケジュールにも配慮して決定されます。

#### 修了要件

修了には、最低で30単位(15クラス)が必要となります。(必修科目と選択科目が設定されています。) 学位：修士(神学) / Master of Arts in Theology

#### 授業形態

春学期、秋学期、冬学期があり、それぞれ10週間の学びです。(1クラス=2単位、週1回140分×10週) オンデマンド授業ではなく、Zoomを用いたリアルタイム授業です。オンラインでどこからでも受講できますが、ご自身の通信環境が安定していることが受講の条件となります。TCUの教室で受講する大学院生と共に学びます。もちろん課題の提出や、グループ学習もあります。ほとんどの授業は火曜から金曜の午後1時から3時半の時間帯に提供されます。(一部例外もあります。) 緊急事態等による欠席の際は、例外的対応として録画された授業をオンデマンドで受講することも可能です。

#### 論文指導

修士論文、または修士プロジェクト(修論の半分の単位)に取り組んでいただきます。すべての院生には指導教員が配置され、オンラインを用いた指導を行います。修士論文・修士プロジェクトは、聖書学、宣教学、組織神学、歴史神学、実践神学、キリスト教教育、宗教心理学等の分野から選ぶことができます。修論執筆開始には研究科委員会(大学院教授会)の承認が必要となります。

#### 入試について

通常の大学院入試があります。オンラインでの受験が可能です。(詳しくは大学院募集要項をご覧ください) 四大卒ではなく神学校卒の場合、個別の受験資格審査があります。聖書学分野の修士論文に取り組む場合には、ギリシャ語・ヘブル語の入学試験が課されます。以前「どこでもTCU大学院」で受講されたクラスの単位は、学位取得に向けた単位として認められます。また既にお支払い頂いた受講料は入学時に相殺されます。授業料は、初めの2年間でお支払いいただきます。2年以上の在学が必要な場合には、継続費が発生します。

### 大学院修了生の声

私は茨城県の牧師なので、TCUにギリギリ通える距離でした。もしこれ以上遠かったら入学を諦めていたでしょう。しかしオンラインとなると全国どこにいても学べる。素晴らしい機会だと思います。

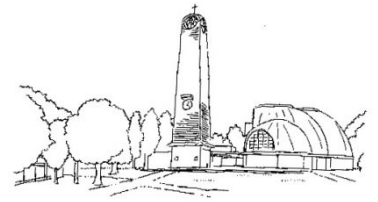
TCUの特徴は、受け入れる体制が整っているということではないかと思います。教授やスタッフの方々がきめ細かくサポートしてくださるので、安心して学ぶことができます。また、すぐ牧会に適用することができる実践的な学びができるのも嬉しいことです。図書館も充実しているし、素晴らしい先生方や仲間との出会いがある。TCUは日本でも最も信頼されている神学校の一つ。

ここで学ぶ意義は大きいと思います。

インタビュー全文は  
10ページで!

幸町キリスト教会  
牧師  
栗崎路





## 第50回夏期教会音楽講習会の恵み

7月21日(木)と22日(金)の二日間、「戦後の福音派教会音楽の過去・現在・未来～東京キリスト教学園の教会音楽の変遷に焦点を当てて」を主題とし、通算50回目の教会音楽講習会を開催しました。対面で開催予定でしたが、7月初めの新型コロナ感染状況に鑑み、開催二週間前にオンラインに変更。そのような中、28名の参加者、7名のオンデマンド配信受講者が与えられました。

今回は本学園の教会音楽の変遷をたどり、主の恵みを覚えつつ、本学教授、講師による講演・実技指導の他、学生による演習、講演にちなんで生まれた新作『マリアの賛歌』（武義和作曲）の紹介も行いました。この曲は今年のクリスマスコンサートでクワイアによって初演されます。ご期待ください！また、第50回特別企画として、本学に関係する教師や卒業生からのビデオレターをいただき視聴しました。詳細は2023年4月発行予定の『礼拝・音楽研究』第72号(教会音楽アカデミー発行)に掲載されます。



7/21-22  
Thu. Fri.

教会音楽アカデミー  
講習会部門長 内藤 真奈



講師の西由起子氏(声楽)

## 3年ぶりの キャンパスでのシオン祭!

10/8  
Sat.

10月8日に3年ぶりとなるキャンパスを会場にした対面でのシオン祭が行われました。事前申し込み制、食事は学生の出店ではなく外部からキッチンカーを呼ぶなど、感染症対策をした上での開催となりました。



当日は700名近い来場者が与えられ、学生たちによる工夫を凝らしたプログラムを楽しみ、卒業生でシンガーソングライターのスamuエル・ソングさんのコンサート、鳩ヶ谷福音自由教会牧師でTCU非常勤教員・理事でもある大嶋重徳さんによるメッセージに聴き入っていました。

## uniTed 2022 開催

11/3  
Thu.

11月3日にTCUを会場にした初めての青年宣教大会である「uniTed 2022」が開催されました。OCC首都圏宣教、TCU同窓会、TCUが実行委員会となって主催しました。



当日は260名の参加者、30団体のブース出展があり、クリスチャンの働きや豊かさ、さまざまな献身の在り方を体験することができました。

集会はニューホープ横浜の賛美チームとシンガーの堀井ローレンさんが賛美をリードし、大嶋重徳さんがメッセージをし、チャペル全体に神様の臨在が豊かにあふれるひと時となりました。次回は来年11月18日(土)を予定しています。

## 新入職員紹介 今年度秋学期から加わりました新入職員を紹介します。

長根山 千恵子(左)  
所属: 教務部

今年8月に入職し、教務部に配属されました長根山千恵子と申します。好きなものは音楽を聴くこと、猫と遊ぶことです。まだまだ至らないこともたくさんあると思いますが、皆様の祝福とされるよう精いっぱい頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



石原 麻衣(中央) 所属: 学生部

9月から学生部に配属されました石原麻衣と申します。TCUで働くことができ大変嬉しく思っております。学生の大学生活のために、大学のために一生懸命働きたいと思っております。

林 茉莉(右) 所属: 総務部

10月に総務部に着任いたしました、林茉莉と申します。2020年に学部を卒業しましたが職員として戻って来ることとなりました。学生として過ごした思い出深い場所で、今度は職員として、学生・教職員の皆さんのために一生懸命働きたいと思っております。

## 韓国異文化実習に出発

11/22  
Thu.

2022年11月22日～2023年2月17日にかけて、韓国異文化実習を実施し3名の学生が参加しています。入国/渡航規制が解除され、2年ぶりの現地海外実習になります。

延世大学語学堂での韓国語の習得、韓国文化や教会生活など約3か月間の滞在を通じて体験しながら学びます。

実習終了後には学生がVlog（ビデオブログ）として報告を公開しますので、ぜひ楽しみにお待ちください。

## 学生 Blog Pick Up!



定期的に更新している学生広報スタッフによる「学生 Blog」から、今回は「人形劇サークル紹介」の記事を紹介します。

人形劇サークルのリーダーへのインタビューを通じて、コロナ禍による中断からの再開に向けた思い、練習の様子、人形劇サークルの意義など、読み応え満載の記事になっています。

学生 Blog では、他にも留学生・教員へのインタビュー、女子寮のある一室で行われているネイルサロンの様子、祈禱会の様子など、リアルな学生生活をお伝えしています。

ぜひお読みください。

学生 Blog はこちらから



## TCU SNS 情報!

Instagram、Facebook の TCU 公式アカウント、そして公式 YouTube チャンネルはすでにフォローして下さっているでしょうか?

Instagram は、冬学期からさらにパワーアップして、TCU 生全員へ募集した選りすぐりの写真をお届けすることになりました。

YouTube チャンネルでは新しい学生生活ムービーが完成しました。ぜひフォローして、TCU の今をチェックしてください!



Facebook



Instagram



YouTube  
YouTube

## 川柳コンテスト 受賞作発表

今年も「第3回全国中高生クリスマス川柳コンテスト」にたくさんの応募がありました。外部審査員4名の審査によって入賞作品が決まりましたのでご紹介します。

最終  
審査員

岩渕まこと (シンガーソングライター)、北口美喜 (hi-b.a. スタッフ)  
松谷信司 (キリスト新聞社)、米本円香 (いのちのこば社) 敬称略・五十音順



1作

ベネーム..  
いももち

飯能市立原市場中学校 中学3年生

説教中 聖書落として 目が覚める



2作

ベネーム..  
夏のいちご

光の子どもインターナショナル  
クリスマスチャンスクール 高校2年生

通読は レビ記の壁が 高すぎる

いのちのこば社賞  
10代から始める  
キリスト教教理

ベネーム..  
もも

清心女子高等学校 2年生

鳴らないで 黙想中の 腹の虫

佳作 5作

ベネーム: コーラス  
光塩女子学院中等科 1年生

高校生 試験の朝だけ 祈り出す

ベネーム: せほくん hi-b.a.賞 新それってどうなの? Q&A 高校生クリスマスライブ編  
グッドサマリタンチャーチスクール 中学 3年生

祈る時 親にバレない 時間帯

ベネーム: ささ  
桜美林高等学校 1年生

讚美歌で 歌い始めの フライング

ベネーム: りりてん キリスト新聞社賞 キリスト教のリアル  
清心女子高等学校 2年生

髪命 今では私 神命

ベネーム: ピーチカ 岩渕まこと賞 気分は各駅停車  
真岡女子高等学校 3年生

マスクでも 賛美ささげる 心から

## 秋入学生 8名が入学・編入学

秋入学の留学生1年次5名、2年次編入1名、3年次編入2名がTCUに加わりました。今回はジャッキーさん、ジョジョさん、フェベさんにインタビューしました。

私は異なる文化や人々のいる場所に身を置いて、いろいろなものに触れたいと強く願っています。日本とTCUこそ、まさにその場所だと思っています。



**John M'baaday Bangura**  
(ジョジョ)  
出身：シエラレオネ

**Jacqueline Reid**  
(ジャッキー)  
出身：米国アリゾナ州

日本語をもっと勉強して、日本でミニストリーができるようになりたいです。日本の教会でいろいろなものを見たり、経験したりすることにワクワクしています。また、私は神学と神学的な話題が大好きです。



**Khin Myatnoe Kyaw** (フェベ)  
出身：ミャンマー

私は、自分の霊的生活を養うために、聖書の読み方や解釈を学びたいと思っています。また、自分の信仰を効果的に守る方法を学び、日本で福音を伝え、キリストを通して世界を変える一端を担いたいとも考えています。神様がTCU生活で私に備えて下さっている計画がどのようなものかを祈り求めています。神様は必ず期待に応じて下さると信じています。



## 短期留学生

秋学期に米国からの短期留学生が12人加わりました。留学の期間は、秋学期が10人、1年間が2人です。

日本人学生との寮生活、日本人家庭へのホームステイなどを経験しながら日本文化と日本語を学んでいます。





## 共立基督教研究所・所長就任挨拶



准教授 須藤 英幸  
Hideyuki Sudo

昨年の暮れ、2022年度より共立基督教研究所の所長として励むようと、山口陽一学長より指命を承りました。研究者として神の国のために貢献できるようになることが、私の若いときからのヴィジョンでしたので、自分の力量を顧みずに喜んでお引き受けさせていただきました。所長としての抱負を、二つの視点から述べたいと思います。

まず歴史的視点に立てば、キリスト教の営みは歴史的伝統の継承によって深められていくものです。12世紀にパリ大学神学部とオックスフォード大学神学部が自然発生的に設立されて以来、大学の使命が教育による人材育成と研究を通じた研磨にあったことは言うに及びません。幸運にも、TCUには伝統ある研究機関がございます。共立基督教研究所の「共立」という名は、1980年の東京キリスト教学園への統合によって、共立女子聖書学院の名が消えてしまうことを惜しんで冠されたものです。共立女子聖書学院は、女性宣教師ルイズ・ピアソンによって1881年に横浜に設立された偕成伝道女学校までその歴史を迎えることができます。このような歴史を受け継ぐ研究所の所長として主から与えられた課題は、研究所がその伝統に恥じないばかりか、日本をリードする神学研究機関へと主の慈しみによって育てていただけるよう、その道筋を整えることだと受け止めております。

次にグローバルの視点に立てば、昨今コロナ・ウイルスによるパンデミック、ロシアのウクライナ侵攻と、世界は混迷を深めています。このような世界的な危機的状況の中で、キリスト教は今その真価が問われています。神による救済とは何か、神の正義とは何か、神の愛とは何か、このようなキリスト教の伝統的な価値概念を明らかにし、あらゆる実践においても揺るぎない基軸として貫けるのか、が問われているのです。それを確固たるものにするためにも、グローバルな実践への適応を念頭に置いた、神学研究の研磨が重要になります。というのも、実践なき学は虚しく、学なき実践は危ういからです。ここで言う学とは、単なる知識を指すのではなく、それを超えた知恵に他なりません。このような神学的な知恵を獲得するためには、思い巡らしては祈り、祈っては考え抜き、考え抜いては対話していく過程が必要になります。それは、遠方に見える微かな曙光を希望として、日々今ここでローカルに支えられながら鍛錬していく苦しい道でもあります。そのような地道に研鑽を重ねる研究者を支援することも研究所の責務です。これらの視点を重視しつつ、研究所の成熟に努めていく所存です。グローバルに展開された霊的に深まりのある研究成果が産出され、学生ばかりでなく教会や社会に広く開かれた研究所になることを願っております。その第一歩として、今年度は研究所の抜本的な組織改革に取り組んでいます。来年度から、研究プロジェクト型の刷新された研究機関になる予定です。研究所の発展のために、皆様にも祈りをもってお支えいただければ幸いです。

### プロフィール

福島県西白河郡矢吹町生まれ。授業では福島訛りが出てしまい、学生が首をかしげることもしばしば。エンジニアになるべく修士課程まで学ぶも、当時お付き合いしていた方（現妻）が教会に足繁く通うようになり、彼女を救済すべく単身教会に乗り込むも、自分が主によって救済されてしまう。その後、文系への転向を図り、哲学を中心に独学する暗澹たる時期を送る。結婚を契機に道が開かれ、アメリカのフ

ラー神学大学院、京都大学大学院文学研究科で神学とキリスト教を学び、2014年に京都大学博士（文学）を取得。2020年より本学専任教員に着任。TCUでは、ギリシア語、キリスト教史、キリスト教哲学、福音書研究、宗教改革史、近現代のプロテスタント神学を担当。根っからの喫茶店好き。京都では、大学生になる一人娘とカフェで一緒に勉強することも少なくない。



今回は、大学院修了生の栗崎路（くりさき・あゆむ）さんにインタビューしました。現在、幸町キリスト教会で牧師として働きながら全国の牧師不在の教会を支える「OCC 無牧ミニストリー」を立ち上げられました。お働きに至った経緯などをお聞きしました。

栗崎 路 Kurisaki Ayumu | 幸町キリスト教会牧師、OCC 無牧ミニストリーズ主宰



**TCU で学ぼうと思ったきっかけを教えてください。**

TCUでの学びを考え始めたのは、もともと無牧だった今の教会に赴任して4年経った頃だったと記憶しています。牧会の土台となる神学の学びを深めたいと感じていました。また教会がある程度回復し、学びに時間を割ける余裕が出てきたことも後押しとなりました。それと同時に、これから増えていく無牧教会のために自分の経験を活かせるような研究をしてみたい、という気持ちもありました。

とりあえず見るだけ、と見学に行ったとき、岡村先生がお話くださり「興味深い研究ですね。ぜひやってみたら。」と励ましてくださいました。「この先生のもとで学んでみたい」と思っていたところ、帰りがけに職員の方が「今年度の願書まだ間に合います」と教えてくださいました。帰宅して妻に「入学することに決めた。受験してみる。」と報告して、驚かれたことを覚えています。入学後岡村先生には論文の指導もしていただきました。

**学生時代に印象に残っていること（授業・活動・生活なんでも）を教えてください。**

学びは非常に刺激的かつ実践的で視野が広がられました。初めの頃は授業についていけるか心配でしたが、同級生や職員の方々、先生方をはじめ、周りの方々に大いに助けていただきました。牧会に携わりながら学んでいる方々が他にいたことも大きな励みになったと思います。

牧会しながら学ぶうえでネックになるのが時間のなさだと思います。教会には私以外スタッフはおらず、妻は二人目の子どもが生まれたばかりでしたので、公私共に忙しい時期でした。そのため、いろいろな工夫を余儀なくされました。

片道2時間弱運転して通学する時間を有効に使おうと、その週の説教箇所を黙想しながら、思いついたことをポイスレコーダーに吹き込み、後で文章にするということもして

いました。課題やレポートもあったので、家族の時間をつくることにも苦心しましたが、おかげでタイムマネジメント力がついたと思っています。しかし何より、周りの方々の優しさに支えられました。

**牧会しながら学ぶことはどんな意味・意義がありましたか？**

TCUで学ぶにあたって、実は「牧会が疎かになってしまうのでは？」と心配していました。学びたいという私個人の勝手な願いゆえに、教会員を犠牲にしてしまっているのでは？と。しかし、学んだことが大いに牧会に反映されていますし、祝福として返ってきているのでは、と今では思っています。

また前述のように、スタッフがいないので牧会に手が回らなくなるのではないかと思いましたが、思い切って様々なことをメンバーに任せるようにしました。その結果奉仕者が育ち、教会に助け合う文化が養われたと思います。

TCUで学ぶことの中には「牧会の現場に出る前に学びたかった！」ということもありましたが、「現場にいるからこそ深く理解できる。」と思うことも少なからずありました。特に実践神学の分野では「ほんとそうなんですよー！」と納得する学びもたくさんありました。その週に学んだことをすぐに試してみることができる、というのも楽しかったです。

**無牧ミニストリーズを始められた経緯、お働きの内容を教えてください。**

OCC 無牧ミニストリーズは、牧師を探す教会と、働き場を探す牧師を繋げる働きです。きっかけはもともと消防士だった私が、無牧教会の増加という現状に心痛めて献身したこと、また実際無牧の教会に遣わされ、回復を経験したことが大きかったと思います。

単立や各個教会主義など、自分たちで牧師を招聘しようとするとき困難を感じる教会は少なくないのです。あるとき、私たちの教会員が「無牧時代は本当に苦しかった。祈るしかなかった。」と言ったことがあります。決して祈ることの大切さを否定するわけではありませんが、「祈るしかなかった」、それは他の手段を持たなかったという状況でしょう。

その一方で、自分もそうでしたが、無牧教会に遣わされたいと思っても、どこにあるのか分からないという牧師たちもいる。つまりニーズは合致するのにお互いが見えていない。この状況をなんとかしたいと思いTCUで論文を書きました。それがお茶の水クリスチャン・センターの目にとまり、現在OCC 無牧ミニストリーズとして活動しています。

# 支援会ニュース

TCU 支援会 〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目 301-5  
TEL:0476-46-1131 FAX:0476-46-1405 E-mail:shien@tci.ac.jp



## クリスマス献金のお願い

メリークリスマス！  
主のご降誕を心からお祝いします！



日頃から本学の教育と研究、

そして学生生活をさまざまな形でサポートしていただき、ありがとうございます。

新型コロナ・ウイルスの感染が世界規模で拡がりを見せる中で迎える3回目のクリスマス。

TCUの学生たちの半数以上は入学してからずっと感染症対策に追われ、

思い描いていたTCU生活とは異なる新しい生活を過ごしています。

そのような中でも、学生たちは、「明日の世界宣教者」として、教会を支える牧師や教会教職者、

様々な分野で活躍する信徒リーダーとなるために、一人ひとり、

そして共同体として、祈り合い、話し合いながら、懸命に、かけがえのない、

神さまから与えられた今の時間を感謝して、前向きに日々取り組んでいます。



私たちにとって、みなさまのお祈りとお支えが何よりの励みです。

引き続き、学生たちが、このキャンパスで育てられ、遣わされ、

神の国が広がっていきますよう、祈り支えていただけましたら幸いです。



みなさまの上に、クリスマスの喜びが豊かでありますように。



### クリスマス献金はこちら

#### 振込先

口座名：学校法人東京キリスト教学園  
明日の世界宣教者育成募金  
郵便振替：00110-5-575648

#### 振込先

口座名：学校法人東京キリスト教学園  
明日の世界宣教者育成募金  
銀行口座：千葉興業銀行千葉ニュータウン支店  
普通 1737541



# どこでもTCUエクステンション 冬学期

## 「ブルーダー『嵐の中の教会』を読む」

講師 朝岡 勝

全8回  
 ① 19:00～20:00 [金曜日]  
 1/20、1/27、2/3、2/10  
 2/17、2/24、3/3、3/10

## 「認知症の人と共に生きる

—「クリスチャン・教会が知っておきたいこと—」

講師 井上 貴詞

全4回  
 ① 13:30～14:30 [土曜日]  
 1/21、1/28、2/18、2/25

## 「新約聖書ギリシャ語入門 Part 4」

講師 神田 恵菜

全8回  
 ① 11:00～12:00 [土曜日]  
 1/21、1/28、2/4、2/11  
 2/18、2/25、3/18、3/25

## 「仏教の空と聖書の空

—「般若心経」と「伝道者の書」から—

講師 大和 昌平

全4回  
 ① 13:30～14:30 [土曜日]  
 3/4、3/11、3/18、3/25

有料のオンライン講座です(支援会員割・グループ受講割あり)。詳細はウェブサイトにて。

申込締切

12月21日(水)

主催・お問い合わせ

教務部 どこでも TCU エクステンション係  
 E-mail awextension@tci.ac.jp



## 入試案内

学部1年次入学、編入学(教会教職課程含む)を希望の方

### 【第3回】総合型選抜

#### 試験内容

- 事前課題(小論文)
- 小論文筆記試験
- 面接試験(聖書の口頭試問含む)

#### 出願期間

2023年1月5日(木)～1月16日(金) 必着

#### 試験日

2023年2月4日(土)

#### 合格発表

2023年2月9日(木)

#### 入学手続締切日

2023年2月24日(金) 必着

### 一般選抜

#### 試験内容

- 事前課題(小論文)
- 筆記試験(聖書・小論文)
- 面接試験

#### 出願期間

2023年2月13日(日)～2月24日(金) 必着

※本学へ持参する場合は  
 3月3日(日)正午まで受け付けます。

試験日 2023年3月6日(日)

合格発表 2023年3月8日(火)

#### 入学手続締切日

2023年3月20日(日) 必着

教会音楽専攻科を希望の方

### 【第2回】教会音楽専攻科入試

対象:4年制大学卒または  
 2023年3月卒業見込者

#### 試験内容

- 実技
- 楽典
- ピアノ、オルガン、声楽、
- 聖書
- 作曲、教会音楽論より
- 面接
- 専攻・副科1つずつ選択

#### 出願期間

2023年1月5日(木)～1月13日(金) 必着

試験日 2023年1月30日(日)

合格発表 2023年2月9日(木)

#### 入学手続締切日

2023年2月24日(金) 必着

入試に関する  
お問い合わせ

本学教務課入試担当

TEL. 0476-46-1131 (代)  
 E-mail nyushika@tci.ac.jp



東京基督教大学  
 TOKYO CHRISTIAN UNIVERSITY